

アースデー2016 inなら 明日香村 石舞台広場

4月24日(日)、菜の花が咲き誇るこの時期、毎年恒例のならコープ主催環境イベント「アースデー 2016 in なら」が明日香村・石舞台広場で開催されました。アースデー 2016 は、「吉野共生プロジェクト」「菜の花エコプロジェクト」「環境政策」「エネルギー政策」にもとづき27回目の開催となる伝統ある催しです。



【会場風景】

このところ3年続きで雨中での開催となり、今年も恐らく...と覚悟していたところ、当日は予想に反し、うららかな春日和となりました。

会場一番乗りは、アースデー常連のベテランスタッフ安川さん。聞くと8時前には到着し一人で会場設営に着手されたとか。私たち他のスタッフが



【開店準備完了】

が到着した頃にはお客さん12人分の作業台も既にセットされていました。(恐れ入りました。)

出し物は昨年に引き続き、好評だった「ブンブンゴマ」と「熊のストラップ」。2つ一組100円で工作指導をした上での販売と致しました。

この割安感と可愛らしさで、子供達に大人気、時には順番待ちの客が出るほどの盛況ぶり。

ブンブンゴマを初めて回し喜ぶ男の子。仕上がった熊のストラップを抱くようにして持ち帰るニコニコ顔の女の子。自分で作った喜びがこちらにもしっかりと伝わってきます。

この伝統ある催しに、当会ではイベント趣旨に賛同し2013年より出展参加、今年も12名のスタッフが参加しました。

見学していた子供達も我慢できず、お母さんにおねだりし遂には仲間入り、時間と共に売れ行きはドンドン伸びていきます。



【ここをこう持って、】

昼からは、協賛イベント「飛鳥歴史ウォーク」に参加されていた300名以上の我々と同世代のシニアウォーカーも到着。会場は熱気に包まれました。



【シニアウォーカー来場】

ステージでは、明日香の伝承芸能「八雲琴」披露、ブラスバンドによる演奏、ゆるキャラによる子供達との触れ合い、更には豪華景品の当たるビンゴゲームなど楽しい催しが行われ花を添えました。

その間にも私達のブースでは客足は途切れず、目の廻るような忙しさ。それでも子供達の嬉しそうな表情、目の輝きに触れると、私達の疲れもどこへやら、吹き飛んでしまいます。

会場では、開始・終了の時間厳守が徹底され、3時丁度に販売ストップ。全部で88セットを販売し今日一日の活動を終えました。

ご参加頂きましたスタッフの皆様、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。ご協力心より感謝致します。



【お疲れ様でした】

また、早くから材料となるクヌギやコナラの殻斗を収集し、台座となる材料や竹材料の調達にご尽力頂きました里山グループを中心とした皆様にもこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

ありがとうございました。(辻本 信一)